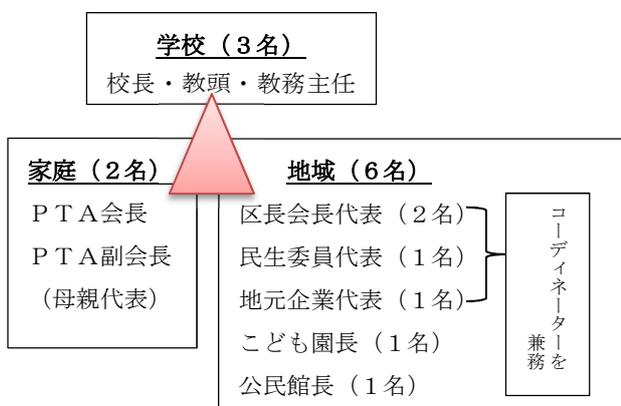


# 1 「家庭・地域・学校協議会」の運営について

## (1) 「家庭・地域・学校協議会」の構成



## (2) 協議会の内容

- 第1回 6月26日(水) 19:00～  
 ○学校の概要説明  
 ○スクールプランの説明  
 ○年間計画について  
 ○地域での子どもたちの実態について  
 ○地区懇談会での話題について
- 第2回 11月7日(木) 9:00～  
 ○学校公開日に合わせての開催  
 ○学校公開の参観  
 ○学校教育評価についての説明
- 第3回 2月29日(土) 13:00～(中止)  
 ○学校教育評価の結果と考察の説明  
 ○本年度の取り組みの反省  
 ○次年度への要望等
- ※書面にて意見集約を実施

## (3) 協議会における成果と課題

学校の教育活動に対して十分に理解をしていただき、建設的な意見をいただくことで、取り組みへの大きな推進力になった。

# 2 地域と進める体験活動

## (1) 活動のねらい

ふるさとあわらの「人」「物」「自然」にふれる体験を通して、自分たちの住む町に誇りと愛着をもてるようにする。

## (2) 活動の実際

### ①あわらの紹介パンフレットを作ろう(6年)



あわら市のことをもっと全国にPRしたいという子ども達の願いをもとに、市役所で観光振興課の職員から「町おこし」についての話を聞いたり、新幹線まちづくり課の方に学校に来ていただき、「芦原駅周辺の開発」について話を聞いたりした。それをもとに児童は意欲的にパンフレットづくりに取り組んだ。

### ②「宝の水」を守ろう(4年)

財産区水道の歴史や、それを守り続けた人々の努力や苦労について、実際に財産区水道を管理している方に来ていただいて説明を受け、水の大切さや財産区の水道の果たす役割について深く知ることができた。



## (3) 地域コーディネーターの活動概要

地域と進める体験事業の中で、コーディネーターの知見や情報をいただきながら、地域に関する様々な学習を取り入れている。

## (4) 特に工夫した事項

実際の学習にあたっては、事前学習をしっかりと行った上で、直接現地に行ったり、外部講師を招いたりすることで、学習の効果を一層上げることができた。

## (5) 成果と課題

体験型学習を中心にした取組によって、子ども達は今まで以上に、あわら市のことをよく知り、より好きになったのではないかと考える。しかし、まだまだ市内には教員も含めて知らない宝が埋もれている。今後も、地域コーディネーターのお力を借りながらあわら市の再発見に努めていきたい。

(様式 3)

--